

実務経験のある教員等による授業科目 令和5年度

成績用科目分類名称	配当学年	科目名称	単位数	教員名	実務経験等について
基礎分野	1	心理学	2	森月 義雄	医療法人や短大等で臨床心理カウンセラーの経験（現役）を活かし、心理学の基礎知識、自己理解や他者理解を深めコミュニケーション能力の向上を目指し、脳科学の知識についても講義する。
基礎分野	1	英語 I	1	嶋本 ローラ	大手企業の英文チェックや翻訳を担当していた経験を活かし、ネイティブスピーカー派遣会社設立。ネイティブスピーカーならではの会話を中心とした授業構成で、音楽を聴いたり英語でゲームなどを行い英語に慣れ親しむことを中心に教育する。
専門基礎分野	1	歯牙解剖学	2	丸山 健	歯科医師（現役）の経験を活かし、口腔を中心とする解剖学的名称や基礎知識を講義する。
専門基礎分野	1	病理学	2	前田 初彦	歯科医師として大学歯学部で教鞭をとりその経験を活かし、病気や疾患の基本について学び、その診断方法や治療法あるいは予防法を講義する。
専門基礎分野	1	微生物学	2	掘江 真弓	歯科医師として大学歯学部で教鞭をとりその経験を活かし、病原性微生物の性質や疾病についてや医療現場による感染予防について講義する。
専門分野	1	歯科衛生士概論	2	前田 順子	歯科診療所の臨床現場での歯科衛生士、専門学校での教員経験（現役）を活かし、歯科衛生士の業務、歴史、法律、倫理、組織や役割について講義する。
専門分野	1	保存修復学	1	村田 公成	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、むし歯等による硬組織の欠損部の進行を阻止し、修復方法を講義する。
専門分野	1	歯内療法学	1	天野 一晴	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、歯髄疾患や根尖歯周病治療についてや臨床実習において治療の土台となる歯内療法を講義する。
専門分野	1	歯周療法学	2	神谷 英道	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、臨床経験を基に歯周病の予防と治療の基本的な知識及び技術について講義する。
専門分野	1	歯科補綴学	2	有馬 達也	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、歯科衛生士日関連している歯科補綴学を臨床に即した面から、補綴治療の基本的な知識について講義する。
専門分野	1	矯正歯科学	2	志村 法子	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、矯正歯科治療の概要、正常咬合と不正咬合など、臨床で歯科衛生士業務に必要な技術を講義する。
専門分野	1	歯科予防処置 I	3	小池 美佳	歯科診療所の臨床現場での歯科衛生士、専門学校での教員経験（現役）を活かし、予防処置の基礎から専門的な知識・技術までの指導を行う。
専門分野	1	歯科保健指導 I	1	前田 順子	歯科診療所の臨床現場での歯科衛生士、専門学校での教員経験（現役）を活かし、健康や歯科医療に対する関心を持って歯科保健指導が行えるよう、基礎的な知識・技術を指導する。
専門分野	1	栄養指導	2	小島 千佳	管理栄養士の資格を有し、病院・歯科医では栄養指導・管理栄養士業を担当。講演や健康と食について健康教室を開く。いままでの経験を活かし、栄養指導の重要性、食事の重要性を講義する。
専門分野	1	歯科診療補助 I	3	川上 理永	歯科診療所の臨床現場での歯科衛生士、専門学校での教員経験（現役）を活かし、患者に対する業務と歯科診療の介添えについてを指導する。

実務経験のある教員等による授業科目 令和5年度

成績用科目分類名称	配当学年	科目名称	単位数	教員名	実務経験等について
専門分野	1	歯科材料	2	永井 伸幸	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、組成と口腔内環境における物質的性質や生物学的性質ならびにこれらの性質に影響を及ぼす取り扱い方を講義する。
基礎分野	2	英語Ⅱ	1	嶋本 ローラ	大手企業の英文チェックや翻訳を担当していた経験を活かし、ネイティブスピーカー派遣会社設立。ネイティブスピーカーならではの会話を中心とした授業構成。英語Ⅰで習った会話中心のスキルを活かし、コミュニケーションのための英語を中心に教育する。
基礎分野	2	体育	1	玉田 鷹士	大手スポーツジムにてグループエクササイズを担当の経験を活かし、ボールやナノチューブを使用した体力づくりを中心としたに実技指導を行う。体を動かすことでリフレッシュし、健康に不可欠ということを体感させる。
専門基礎分野	2	薬理学	2	近藤 玲子	薬剤師の資格を有し薬局に勤務（現役）、その経験を活かし、薬物の知識・作用・副作用について講義する。
専門分野	2	歯科臨床概論	2	齋藤 輝海	病院口腔外科の臨床現場での歯科医師（現役）経験を活かし、口腔機能の重要性や歯科臨床の一連の流れについて講義する。
専門分野	2	歯科予防処置Ⅱ	2	遠山 麻希子	歯科診療所の臨床現場での歯科衛生士、専門学校での教員経験（現役）を活かし、相互実習を通じ予防処置の専門的な技術を指導する。
専門分野	2	小児歯科	2	榊原 章一	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、成長過程である小児期の口腔領域について学び、問題点や予防・処置方法を講義する。
専門分野	2	障害者歯科	1	岡 義郎	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、障害の概念、歯科医療に必要な介助法ならびに歯科保健指導を講義する。
専門分野	2	歯科保健指導Ⅱ	1	前田 順子	歯科診療所の臨床現場での歯科衛生士、専門学校での教員経験（現役）を活かし、基礎的知識・技術を指導し、臨床および地域歯科保健活動において、専門的立場より支援できる能力が習得できるよう指導する。
専門分野	2	食育実習	2	平井 恵子	管理栄養士の資格を有し、栄養管理士会主催等の講演や健康と食について健康教室を開く。いままでの経験を活かし、食についての重要性や保健指導力を教える。
専門分野	2	看護法大意	1	竹下 裕子	看護師免許と歯科衛生士免許を有する。それぞれの臨床実習経験があり、その経験を活かし看護の概念・技術・実務につて講義する。
専門分野	2	放射線	1	清水 大行	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）の経験を活かし、口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影、放射線治療と口腔管理、歯科衛生士の役割について講義する。
専門分野	2	医療保険	1	柴田 芳紀	歯科診療所の臨床現場での歯科医師（現役）や歯科医師会社会保険部の職を歴任。その経験を活かし、健康保険診療上の必要事項を講義する。
専門基礎分野	3	摂食・嚥下	1	小牧 侑紀	大学病院の臨床現場での歯科衛生士（現役）の経験を活かし、歯科衛生士が摂食・嚥下障害のリハビリテーションを実践できるようにする為の知識・技術を講義する。
専門分野	3	高齢者歯科	1	高濱 豊	歯科医師として大学歯学部で教鞭をとりその経験を活かし、加齢による身体的・精神的変化と疾患、高齢者の特徴・接し方・医療と介護・歯科衛生過程について講義する。

実務経験のある教員等による授業科目 令和5年度

成績用科目分類名称	配当学年	科目名称	単位数	教員名	実務経験等について
専門分野	3	歯科保健指導Ⅲ	1	藤井 広美	歯科診療所の臨床現場での歯科衛生士、専門学校での教員経験（現役）を活かし、ライフステージごとの口腔保健管理論を講義し、実習を通じて実践力を指導する。
実務経験のある教員等による授業科目合計単位数			49		

■科目別授業計画表

科目名	摂食・嚥下	授業形態	講義
担当講師名	小牧 侑紀		
科目内容	摂食・嚥下を理解し、歯科衛生士として摂食・嚥下リハビリテーションが実践できるよう、知識・技術を習得する。		
到達目標	摂食・嚥下を理解したうえで、摂食・嚥下リハビリテーションが実践できる。		
実務経験担当教員	大学病院の臨床現場での歯科衛生士（現役）の経験を活かし、歯科衛生士が摂食・嚥下障害のリハビリテーションを実践できるようにする為の知識・技術を講義する。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>2</u> 回で 4 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	歯科衛生士学シリーズ 高齢者歯科学（医歯薬）		
参考図書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション（医歯薬）		
授業内容	<p>1回目：摂食・嚥下総論</p> <p>2回目： " 各論</p> <p>3回目：摂食・嚥下リハビリテーション総論</p> <p>4回目： "</p> <p>5回目： " 各論</p> <p>6回目：嚥下調整食総論</p> <p>7回目：小児・障害児の摂食・嚥下リハビリテーション</p> <p>8回目： "</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	口腔衛生学・歯科衛生統計	授業形態	講義
担当講師名	新井 歌織、伊藤 恭子、塚本 敬子		
科目内容	口腔の疾病を予防し、さらに口腔の健康の保持増進を達成するため、個人にとどまらない地域社会を含めた幅広い場に応用する科学と技術を、口腔衛生学では勉強する。前半には、卒業研究を行うための衛生統計学の基本について勉強する。		
到達目標	予防の概念と基本的知識の習得を目標とする。		
授業時間	総時間数 <u>60</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1,2</u> 回で 23週実施 総授業回数 30]		
単位数	<u>4</u> 単位		
使用教材	歯科衛生学シリーズ 保健生態学 (医歯薬) 歯科衛生学シリーズ 保健情報統計学 (医歯薬)		
参考文献	新予防歯科学 (医歯薬)、口腔衛生学 (一世出版)		
授業内容	<p>1回目：疫学</p> <p>2回目：う蝕の指数</p> <p>3回目：歯周疾患の指数</p> <p>4回目：口腔清掃の指数 歯のフッ素症の指数</p> <p>5回目：歯科疾患の疫学情報 既成資料</p> <p>6回目：歯科疾患の疫学的特徴</p> <p>7回目：代表値 散布度 相関</p> <p>8回目：検定</p> <p>9回目：口腔衛生の意義 口腔の健康</p> <p>10回目： ”</p> <p>11回目：歯の健康</p> <p>12回目： ”</p> <p>13回目：歯・口腔の付着物・沈着物</p> <p>14回目： ”</p> <p>15回目：う蝕</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価 (100%)		

■科目別授業計画表

授 業 内 容
16回目：う蝕
17回目：フッ化物の基礎知識
18回目： ”
19回目：フッ化物応用による齲蝕予防方法
20回目： ”
21回目：歯周疾患の予防
22回目：う蝕・歯周疾患の予防段階
23回目：ライフステージごとの口腔保健管理
24回目：地域歯科保健・公衆歯科衛生
25回目：母子歯科保健
26回目：幼児・学校歯科健康診断
27回目：学校歯科保健
28回目：成人・産業歯科保健
29回目：老人歯科保健
30回目：精神歯科保健、国際歯科保健、災害時歯科保健
回目：

■科目別授業計画表

科目名	高齢者歯科	授業形態	講義
担当講師名	高濱 豊		
科目内容	超高齢社会となり、高齢者に対する歯科診療の重要性が増したため、歯科医師のみならず、歯科衛生士の役割も重要となりました。そこで、高齢者の特徴、歯科診療、歯科保健指導を学習し、要介護者や在宅高齢者も含めて歯科診療補助、口腔管理指導の実際面を習得します。		
到達目標	高齢者の特性、特徴・治療法を理解する		
実務経験担当教員	歯科医師として大学歯学部で教鞭をとりその経験を活かし、加齢による身体的・精神的変化と疾患、高齢者の特徴・接し方・医療と介護・歯科衛生過程について講義する。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 (医歯薬)		
参考図書	老年歯科医学用語辞典 (日本老年歯科医学会 編)		
授業内容	<p>1回目：高齢者を取りまく社会と環境</p> <p>2回目：加齢による身体的・精神的変化と疾患</p> <p>3回目：高齢者の状態の把握</p> <p>4回目：口腔のケア</p> <p>5回目：口腔のケア、摂食・嚥下リハビリテーション</p> <p>6回目：摂食・嚥下リハビリテーション</p> <p>7回目：高齢者に関わる医療と介護</p> <p>8回目：高齢者歯科における歯科衛生過程</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価 (100%)		

■科目別授業計画表

科目名	口腔ケア	授業形態	講義・実習
担当教員名	長谷川 真未		
科目内容	口腔の持つあらゆる働き（摂食、咀嚼、嚥下、構音、審美性、唾液の分泌など）を健全に維持するために口腔ケアの意義・口腔機能評価法・手法を学び、口腔機能管理能力を習得する。		
到達目標	高齢者介護施設・訪問歯科等における口腔衛生及び口腔機能管理を実施するために、必要な知識と技術を総合し身に付ける。		
授業時間	総時間数 30 時間 [90分授業を、週 1-2 回で 6週実施 総授業回数 11]		
単位数	1 単位		
使用教材	歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学（医歯薬）版		
参考図書	口をまもる 生命をまもる 基礎から学ぶ口腔ケア 第2版（Gakken） 歯科衛生士のための口腔介護実践マニュアル（メディカ出版）		
使用機器	吸引機能付き介護用歯ブラシ パルスオキシメーター 聴診器 血圧計 介護用ベッド 車いす ヘッドライト 口腔ケアグッズ一式		
授業内容	<p>1回目：Ⅳ編 口腔のケア（基礎知識・基礎技術）1章 高齢者の口腔のケア 2章 有病高齢者への口腔ケア</p> <p>2回目：口腔ケア時の留意点 口腔ケア用品・器材 口腔のケアアセスメント票</p> <p>3回目：口腔ケア実習① 口腔粘膜ケアの手法 痂皮体験（患者疑似体験）</p> <p>4回目： // // 症例別改良歯ブラシ作製・発表</p> <p>5回目：口腔アセスメント演習 口腔機能評価の方法（RSST・オーラルディアドコネシス）</p> <p>6回目： // // SOAP方式の記録への展開</p> <p>7回目：Ⅳ編 口腔のケア 3章 要介護高齢者への口腔ケア</p> <p>8回目：高齢者介護施設実習に向けて（実習目標の設定・実習要点の事前学習）</p> <p>9回目：口腔ケア実習② ベッドサイドにおける口腔のケア（摂食・嚥下障害患者への対応）</p> <p>10回目： // 車椅子サイドにおける口腔のケア（認知症患者への対応）</p> <p>11回目：Ⅴ編 摂食・嚥下リハビリテーション 2章 摂食・嚥下の評価と対応</p> <p>12回目： 3章 誤嚥性肺炎の予防のための訓練 間接訓練・直接訓練・食事支援</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	歯科保健指導Ⅲ	授業形態	講義・実習
担当教員名	藤井 広美		
科目内容	ライフステージごとの口腔保健管理の理論を学び、演習を通じて個々の患者に適したプログラムを作成することなど、継続した口腔保健管理の実践力を身につける。		
到達目標	各ライフステージの一般的特徴・口腔の特徴を理解し、対象者が実践できるような具体的な方法・技法を習得する。 各ライフステージの歯科保健指導を実施することができる。		
実務経験担当教員	歯科診療所の臨床現場での歯科衛生士、専門学校での教員経験（現役）を活かし、ライフステージごとの口腔保健管理論を講義し、実習を通じて実践力を指導する。		
授業時間	総時間数 <u>45</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 23 週実施 総授業回数 23]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 (医歯薬) 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 (医歯薬) ビジュアル版 介護予防5 口腔ケアのアクティビティー		
参考図書	歯科衛生士試験対策ポイントチェック5 歯科衛生ケアプロセス(医歯薬出版)		
授業内容	<p>1回目：7章 小集団指導法（高齢者の口腔機能トレーニング）</p> <p>2回目： //</p> <p>3回目： //</p> <p>4回目： //</p> <p>5回目： //</p> <p>6回目： //</p> <p>7回目： //</p> <p>8回目： //</p> <p>9回目： 小集団指導法（幼稚園まとめ）</p> <p>10回目： 小集団指導法（小学校まとめ）</p> <p>11回目： 食生活指導</p> <p>12回目： //</p> <p>13回目： ライフステージにおける歯科衛生介入について</p> <p>14回目： // (妊産婦)</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	医学概論	授業形態	講義
担当講師名	伊藤 不二男		
科目内容	医療技術が進歩するとともに新たな社会問題、生命倫理の問題が発生する。本講義ではこれらの問題についての意見を賛成、反対を含めて多面的に解説する。		
到達目標	生命倫理の問題について理解し、自分の意見をわかりやすく表現することができる。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	プリント資料を配布		
授業内容	<p>1回目：インフォームドコンセント</p> <p>2回目：医学実験、臨床検査</p> <p>3回目：医療資源の配分</p> <p>4回目：尊厳死、安楽死</p> <p>5回目：障害を持つ新生児の治療</p> <p>6回目：出生前診断</p> <p>7回目：代理母出産</p> <p>8回目：多胎減数手術</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	講義中のレポートで評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	人間関係論	授業形態	演習
担当講師名	森月 義雄		
科目内容	人間の社会生活を一人で生きてゆくことはできません。人と共に生きる共同相互存在です。人を動かし人に動かされている自分。一人の自分にもいろいろな自分がある。自分の事はよく知っているつもりでも他者からの評価に戸惑うこともしばしばです。個人と集団の関係は人間において永遠の課題でもあります。人間行動、思考、感情の在り方など様々な観点から学んでゆきます。実生活に役立て心身共に健康な毎日を送りたいものです。		
到達目標	日常生活の中で経験する集団心理と個人心理との相違の理解		
授業時間	総時間数 <u>30</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 15週実施 総授業回数 15]		
単位数	<u>2</u> 単位		
使用教材	カラー版徹底図解 社会心理学 (新星出版社)		
授業内容	<p>1回目：はじめに 人間関係論について</p> <p>2回目：社会心理学</p> <p>3回目：歴史的な実験（1）</p> <p>4回目：歴史的な実験（2）</p> <p>5回目：社会の中の個人（1）</p> <p>6回目：社会の中の個人（2）</p> <p>7回目：対人認知と行動（1）</p> <p>8回目：対人認知と行動（2）</p> <p>9回目：集団の中の人間（1）</p> <p>10回目：集団の中の人間（2）</p> <p>11回目：文化と人間の心理</p> <p>12回目：社会現象・社会問題の心理（1）</p> <p>13回目：社会現象・社会問題の心理（2）</p> <p>14回目：自己と共存社会</p> <p>15回目：まとめ</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	教養科目（文章力講座）	授業形態	講義
担当講師名	菅沼 健		
科目内容	歯科衛生士はまとまった文章を書く機会は少ないが、社会人として身につけたい文章力の基礎・基本を実践的に学ぶ。		
到達目標	文章技法を習得し、分かりやすい文章を書くことができる。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	自作テキスト「文章力講座」		
授業内容	<p>1回目： 1. 文章力の基礎 (1) 文章の土台</p> <hr/> <p>2回目： (2) 文の組み立て</p> <hr/> <p>3回目： (3) 短詩型文学に学ぶ</p> <hr/> <p>4回目： (4) 文章の構成</p> <hr/> <p>5回目： (5) メールの基本</p> <hr/> <p>6回目： 2. 演習 (1) 手紙文</p> <hr/> <p>7回目： (2) 散文</p> <hr/> <p>8回目： (3) 論文</p> <hr/> <p>回目：</p>		
評価方法基準	レポートで評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	教養科目（絵手紙）	授業形態	講義・演習
担当講師名	岩田 多恵子		
科目内容	墨や筆による絵手紙の表現を学ぶ。		
	自然の変化に関心を持つ。		
	絵手紙を通してお互いの感性の違いを学ぶ。		
	身近な人に絵手紙で感謝を伝える。		
到達目標	絵と文字と文章から成り立つ絵手紙をかき、感謝を伝えることにより心と心の交流を図る他、感性を豊かにする。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	プリント配布		
参考図書			
授業内容	<p>1回目：絵手紙とは？ 初めての1枚をかく 名前で自己紹介</p> <p>2回目：野菜や果物をかく 実物をよく視ながらかく</p> <p>3回目：小さなモチーフをかく 短い、自分の言葉でかく</p> <p>4回目：消しゴム印作りと葉拓</p> <p>5回目：新聞紙コラージュで秋を表現する</p> <p>6回目：たらしこみ技法で秋を表現する</p> <p>7回目：大切な人に感謝を伝える</p> <p>8回目：自分を励ます絵手紙をかく ※マスコットや大切にしているものを持参</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	レポートで評価		

■科目別授業計画表

科目名	教養科目（心理カウンセリング）	授業形態	講義
担当講師名	堀場 英里名		
科目内容	<p>自分の夢や目標に向かって社会人としてスタートを切るためには、自己を分析して、「今の自分の強みと弱み」を冷静に把握することが重要です。</p> <p>この授業では、自分自身を見つめなおし、いざという時に正しい判断ができる人となれるよう学習します。</p>		
到達目標	<p>歯科衛生士として患者さんの気持ちに寄り添うことができるよう、まず自分自身の理解を深めることを目標とします。</p>		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	プリント資料配布		
参考図書	授業の中で適宜紹介		
授業内容	<p>1回目：自分の脳のタイプを知る</p> <p>2回目：コアバリュー（生れもったもの）を知る</p> <p>3回目：ミッドバリュー（積み上げるもの）を学ぶ</p> <p>4回目：キーバリュー（目的 価値観）を確認する</p> <p>5回目：強みと弱みを学ぶ</p> <p>6回目：自らをブランディングする</p> <p>7回目：外的価値を知る</p> <p>8回目：チームオペレーションを組み立てる</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価（100%）		

